

平成 30(2018)年 1 月 30 日 報道発表資料
 [本リリース発信元] ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 広報担当:松本、長野

報道関係者各位

平素よりお世話になっております。ロームシアター京都よりご案内です。ご注目のほどよろしくお願いたします。

<トピックス>

- ◆【取材案内】2/9(金)~12(月・休)開催 「アンチゴーヌ」
- ◆【取材案内】2/9(金)~11(日・祝)開催 烏丸ストロークロック『まほろばの景』
- ◆【公演決定】ミュンヘン・カンマーシュピレ『NÖ THEATER』作・演出 岡田利規(チェルフィッチュ)
- ◆【公演決定】レパトリーの創造 第二弾 KAAT 神奈川芸術劇場、穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 共同製作 木ノ下歌舞伎『糸井版 摂州合邦辻』(仮)
- ◆【開催のご案内】「まちの見方を 180 度変えるローカルメディアづくり~CIRCULATION KYOTO」制作発表記念トーク

【取材案内】 2/9 (金)~12 (月・休) 開催 「アンチゴーヌ」

日本を代表する演出家・栗山民也が蒼井優、生瀬勝久らを迎えて送る構想 10 年の意欲作！
 十字架の舞台の四方を観客が取り囲む特設ステージで、豪華実力俳優が競演。



時代を超え世界中で上演され続けている、フランスの劇作家ジャン・アヌイの代表的悲劇作品「アンチゴーヌ」。栗山民也演出のもと、岩切正一郎の新訳・豪華俳優陣の競演で現代によみがえります。アンチゴーヌ役を演じるのは、舞台初主演となる蒼井優。対する王・クレオン役を演じるのは、映像・舞台にと幅広く活躍し、圧倒的な存在感と演技力を放っている生瀬勝久。権力者として政治の責任を貫こうとする冷静な王クレオンに対し、自分の良心にまっすぐに従い、自己の信念を貫くアンチゴーヌ。それぞれが抱える想いは通じ合うことなく、物語は悲劇へと進行します。人間が社会の中で生きる矛盾と葛藤が危ういくらいスリリングに映し出される。混沌とした時代に、リアルに迫り来る物語。どうぞご期待ください！

作:ジャン・アヌイ 翻訳:岩切正一郎 演出:栗山民也

出演:蒼井優、生瀬勝久、梅沢昌代、伊勢佳世、佐藤誓、渋谷謙人、富岡晃一郎、高橋紀恵、塚瀬香名子

日時:2018年2月9日(金)~12日(月・休)

開演	2/9(金)	10(土)	11(日・祝)	12(月・休)
13:00		◎		○
16:00			○	
18:00		○		
19:00	○			

◎=託児サービスあり(有料・要予約)

会場:サウスホール<舞台上特設ステージ> ※未就学児入場不可 ※1階特設ステージ席客席図は[こちら](#)

主催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市
 協賛:株式会社京都確認検査機構 企画・製作:株式会社パルコ

【取材案内】2/9(金)～11(日・祝)開催 烏丸ストロークロック『まほろばの景』

故郷を失った男が、理想郷を求め辿り着いたのは…

京都の劇団・烏丸ストロークロックが地域を越えて挑んだ連作の集大成

2016年、第60回岸田國土戯曲賞ノミネート、2016年度京都市芸術新人賞を受賞し、いま京都で最も注目を浴びる劇作家・演出家の柳沼昭徳率いる烏丸ストロークロック。今回の『まほろばの景(けい)』シリーズは、2017年7月の宮城県仙台市での滞在制作からスタートしました。東日本大震災以降、“被災地”と漠然と捉えていた彼の地での人びとの声、営みとの出会いは、私たちが日常無意識に感じるあらゆる隔たりとの対峙でもありました。隔たりを越え「交ざりあう」ことをテーマに東京・京都での朗読劇、広島での短編と1年をかけて連作を重ね、この長編「まほろばの景」へと物語は集成します。



作・演出：柳沼昭徳

音楽・演奏：中川裕貴

出演：阪本麻紀(烏丸ストロークロック)、澤雅展(烏丸ストロークロック)、角谷明子、小菅紘史(第七劇場)、小濱昭博(劇団短距離男道ミサイル)、松尾恵美

カンパニープロフィール、作品推薦文など掲載

烏丸ストロークロック「まほろばの景」プレスリリースは[こちら](#)

日時：2018年2月9日(金)19:00開演、10日(土)13:00/18:00開演、11日(日・祝)13:00開演

会場：ノースホール

主催：烏丸ストロークロック 共催：ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

＜取材案内＞「アンチゴーヌ」、「まほろばの景」について、ご多忙とは存じますが、是非とも取材いただきますよう御案内申し上げます。取材いただける場合は、大変お手数ではございますが、別紙の出席確認票をFAXにてロームシアター京都(送付先:075-746-3366)に送付いただきますようお願い申し上げます。返信締切は出席確認票をご確認ください。

【公演決定】ミュンヘン・カンマーシュピール『NÖ THEATER』作・演出 岡田利規 (チェルフィツチュ)

ドイツ有数の公立劇場ミュンヘン・カンマーシュピールにてレパートリー作品として発表された、チェルフィツチュ岡田利規による話題作がロームシアター京都に登場！



© Julian Baumann

ドイツ有数の公立劇場として知られるミュンヘン・カンマーシュピールにて、日本人演出家としては初めて3シーズンにわたるレパートリー作品の演出を務める岡田利規(チェルフィツチュ主宰)による、2017年2月に発表された作品がついにロームシアター京都に登場！日本国内での上演はこの京都公演のみとなります。

本作で岡田が取り上げるのは、日本最古の舞台芸術「能」。その様式を用いて、資本主義に飲み込まれている現代日本の姿を描き出します。音楽は、即興演奏を行う現代音楽家・内橋和久が担当。ミュンヘン・カンマーシュピール劇場専属の俳優と共にドイツで創作した話題作、どうぞご期待ください。

私にとって重要なことは、能の形式がきわめて演劇的だということ、その演劇的であることの度合いは、私にとっては、たとえば能が(日本的)であることの度合いなどよりずっと大きい。(岡田利規)

日時:2018年7月6日(金)~8日(日) 全3ステージ

会場:サウスホール

チケット:全席指定 一般4,500円 ユース(25才以下)3,500円

※ユースチケットをご購入の方は、公演当日、証明書のご提示が必要です

※未就学児入場不可

チケット一般発売開始:2018年4月14日(土)10:00~

会員先行発売※:2018年4月7日(土)10:00~

※フレンズ会員(オンライン会員)、Club会員(京都コンサートホール・ロームシアター京都共通の会員制度)、京響友の会会員

チケット取扱

■ロームシアター京都オンラインチケット(要事前登録・無料) <https://www.e-get.jp/kyoto/pt/>

■ロームシアター京都チケットカウンター(窓口・電話) TEL.075-746-3201(10:00~19:00、年中無休、臨時休館日のぞく)

■京都コンサートホールチケットカウンター(窓口・電話) TEL.075-711-3231(10:00~17:00、第1・3月曜休※祝日の場合は翌日) ほか

翻訳:Andreas Regelsberger

出演:Maja Beckmann, Anna Drexler, Thomas Hauser, Jelna Kuljić, Stefan Merki

音楽:内橋和久、美術: Dominic Huber、衣裳: PERRET SCHAAD、照明: Andreas Rehfeld、ドラマトウルク: Tarun Kade

製作: MÜNCHNER KAMMERSPIELE

主催:ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都市

助成:ドイツ連邦共和国外務省、ゲーテ・インスティテュート

【公演決定】レパトリーの創造 第二弾 木ノ下歌舞伎『糸井版 摂州合邦辻』（仮）

古典を現代に「奪還」する木ノ下歌舞伎と組む“レパトリーの創造”、第二弾始動！



「レパトリーの創造 木ノ下歌舞伎『心中天の網島—2017 リクリエーション版—』」(c)Takuya Matsumi

現代における歌舞伎演目の可能性を検証・発信する木ノ下歌舞伎(愛称=キノカブ)。2017年10月に第一弾として、「レパトリーの創造 木ノ下歌舞伎『心中天の網島—2017 リクリエーション版—』」を開催しました。このたび、プロジェクト第二弾となる木ノ下歌舞伎『糸井版 摂州合邦辻』(仮)の上演が決定しました！

説教節「しんとく丸」や「愛護の若」を元にし、人形浄瑠璃、歌舞伎、文学、演劇と時代により形を変えながらも古来より脈々と語り継がれてきた名曲、物語を、木ノ下歌舞伎×糸井幸之介のタッグが、現代に紡ぎ直します。

作:菅専助・若竹笛躬 監修・補綴:木ノ下裕一 上演台本・演出・音楽:糸井幸之介(FUKAIPRODUCE 羽衣)

企画制作:ロームシアター京都、木ノ下歌舞伎 製作:ロームシアター京都 共同製作:穂の国とよはし芸術劇場 PLAT、KAAT 神奈川芸術劇場

【京都公演】2019年2月10日(日)―11日(月・祝)ロームシアター京都 サウスホール

【豊橋公演】2019年2月15日(金)―16日(土)穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 主ホール

【横浜公演】2019年3月14日(木)―17日(日)KAAT 神奈川芸術劇場 大スタジオ

【開催のご案内】「まちの見方を180度変えるローカルメディアづくり～CIRCULATION KYOTO」制作発表記念トーク

昨年4月にキックオフ、8月に公開プレゼンテーションを実施し、山科区、伏見区、西京区、北区、右京区の各地域の歴史と文化を自由な発想で映し出すローカルメディア案を発表した「CIRCULATION KYOTO」。9月以降は、地域の企業、大学、NPOなど様々な地域のプレイヤーの方々よりフィードバックを受けながら、各チームが発表した案を具体化すべく独自に活動してきました。

このたび、各チームが構想、制作した(あるいは制作中の)メディアが一堂に会い、成果を発表いたします。またディレクターチームとロームシアター京都スタッフによる、地域と劇場の関わり、そして可能性を考えるトークも実施、プロジェクト全体を振り返ります。

日時:3月10日(土)14:00～16:30(予定)

会場:ロームシアター京都パークプラザ3F 共通ロビー

出演:各地域プロジェクト・メンバー、影山裕樹(編集者)、加藤賢策(アートディレクター)、上條桂子(編集者)、榎原充大(建築家、リサーチャー)、橋本裕介(ロームシアター京都プログラム・ディレクター)、武田知也(ロームシアター京都)

参加費無料・事前申込制、2月2日(金)受付開始

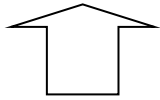
申込方法:ロームシアター京都WEBサイト(<http://rohmtheatrekkyoto.jp/>)内の専用予約フォームから申込み

主催:公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団(ロームシアター京都、京都市東部文化会館、京都市呉竹文化センター、京都市西文化会館ウエスティ、京都市北文化会館、京都市右京ふれあい文化会館)、京都市

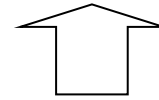
企画製作:ロームシアター京都 平成29年度文化庁文化芸術創造活用プラットフォーム形成事業



【本リリースに関するお問合せ先】ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団) 担当:松本、長野
電話:075-771-6051(9:00～17:00) FAX:075-746-3366 E-mail: press@rohmtheatrekkyoto.jp



ロームシアター京都 宛



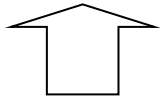
FAX:075-746-3366

2/9 (金)~12 (月・休) 開催 「アンチゴーン」

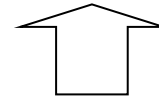
- (1) 日 時 平成30年2月9日(金)~2月12日(月・休)
9日(金) 午後7時開演
10日(土) 午後1時開演/午後6時開演
11日(日・祝) 午後4時開演
12日(月・休) 午後1時開演
- (2) 場 所 ロームシアター京都 サウスホール 舞台上特設ステージ

御芳名	
媒体名 貴社名	
取材希望 日時	ご希望の回にチェックを入れてください <input type="checkbox"/> 9日(金) 午後7時開演 <input type="checkbox"/> 10日(土) 午後1時開演 <input type="checkbox"/> 10日(土) 午後6時開演 <input type="checkbox"/> 11日(日・祝) 午後4時開演 <input type="checkbox"/> 12日(月・休) 午後1時開演
TEL	() - ※当日連絡可能な連絡先 () -
FAX	() -
備考	

- ◆平成30年2月5日(月)までに 本票をFAXにて(075-746-3366)送付願います。
- ◆当日は、本票をサウスホール入口の「プレス受付」に御提示ください。
- ◆上演中のスチール、ビデオ撮影はご遠慮ください。公式の舞台写真をお渡しできますので、ご希望の際はお問い合わせください。
- ◆駐車場はございません。公共交通機関を御利用いただくか、お車でお越しの際は近隣の駐車場を御利用ください。



ロームシアター京都 宛



FAX:075-746-3366

2/9 (金)～11 (日・祝) 開催 烏丸ストロークロック 『まほろばの景』

- (1) 日 時 平成30年2月9日(金)～2月11日(日・祝)
9日(金) 午後7時開演
10日(土) 午後1時開演／午後6時開演
11日(日・祝) 午後1時開演
- (2) 場 所 ロームシアター京都 ノースホール

御芳名	
媒体名 貴社名	
取材希望 日時	ご希望の回にチェックを入れてください <input type="checkbox"/> 9日(金) 午後7時開演 <input type="checkbox"/> 10日(土) 午後1時開演 <input type="checkbox"/> 10日(土) 午後6時開演 <input type="checkbox"/> 11日(日・祝) 午後1時開演
TEL	() — ※当日連絡可能な連絡先 () —
FAX	() —
備考	

◆平成30年2月5日(月)までに 本票をFAXにて(075-746-3366)送付願います。

◆当日は、本票をノースホール入口の「受付」に御提示ください。

◆上演中のスチール、ビデオ撮影はご遠慮ください。公式の舞台写真をお渡しできますので、ご希望の際はお問い合わせください。